

1. SDGs 未来都市計画

(1) 概要

令和5年度に区長を本部長とする「品川区SDGs推進本部」を設置し、全庁的なSDGsの推進を行うとともに、SDGs推進の取組みを具体化した「SDGs未来都市計画」を国と連携して策定し、その進捗確認、計画推進に関する全庁的な調整を行う。

(令和6年度SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定)

(2) 計画期間

令和6年度～令和8年度の3ヵ年(令和6年10月策定)

2. しながわSDGs 共創推進プラットフォーム

(1) 目的

SDGsの達成に向けた取組みの推進および地域課題や行政課題の解決に向け、多様なステークホルダー間の相互交流や情報共有を通じ、自律的取組みを促進する。

(2) 概要

地域課題や行政課題の共有および課題解決に向けた意見交換や、プラットフォーム会員企業・団体等の相互交流、情報共有に資する事業を実施する。

(3) 実績(令和6年度)

- ・会員数 17企業・団体 ・交流会 2回
- ・しながわSDGs共創推進プラットフォーム専門部会(環境) 4回
※環境課で実施

(4) 令和7年度実施予定

- ・9月上旬 第1回交流会 ・2月上旬 第2回交流会

3. しながわシティラボ

(1) 目的

企業・団体・大学等からの提案により社会課題を解決(課題解決型)し、また、行政が企業・団体・大学等へ新サービスの実証実験の場を提供すること(実証実験提案型)により、新たなソリューションを創出するといった双方向の連携を推進する。

(2) 概要

区と企業・団体・大学等との連携を強化し、新たなサービスの創出にトライアルする仕組みとして、品川区をフィールドに社会実装を目指す民間提案を募集する。各部署からの課題提案を専用ホームページに掲載し、社会課題の解決に資する技術やノウハウ、アイデア等の提案を随時受け付け、各部署との調整・マッチングを行う。

(3) 実績(令和6年度)

- ・提案事業数 17件(課題解決型8件 実証実験提案型9件)
- ・実証実験実施事業数 2件(課題解決型1件 実証実験提案型1件)

(4) 令和7年度実証実験実施予定

- 事業者名 : TreeLab合同会社(課題解決型)
- 事業名 : 中小規模建物への脱炭素化サービスの普及による地域社会のゼロカーボン化の促進に関する実証実験
- 解決したい課題: 中小企業における脱炭素化の推進

4. ウェルビーイング・SDGs 推進ファンド

(実施主体: ウェルビーイング・SDGs 推進事業実行委員会)

(1) 目的

区の財政や人的資源に限りがあるなか、求められる公共サービスが多様化・複雑化している。民間企業や地域団体、大学、研究機関等と区が連携し、SDGsに資する地域課題・行政課題の解決を目指す。

(2) 概要

地域課題・行政課題の解決を図る民間企業や地域団体、大学、研究機関等が行う新たな技術やサービスを用いた事業に対して助成を行うことで、多様な区民ニーズに対応し、区民のウェルビーイング向上を目指す。区と民間企業等から募る資金を活用し、ウェルビーイング・SDGs 推進事業実行委員会にて補助対象事業の要件決定や事業募集、補助事業の審査、決定、評価等を行う。

(3) 令和7年度実施予定

- 6月11日～6月30日: 事業募集
- 7月14日: 第一次審査(書類審査)
- 8月22日: 第二次審査(プレゼンテーション)
- 8月下旬: 助成対象事業決定
- 9月上旬: 助成金の交付(概算払)
- 令和8年3月: 実績報告 調査・助成金の額の確定 成果報告

5. 中高生リバースマンター事業

(1) 目的

中高生自らが政策提言をし、社会を変える実感を持つことによって、SDGs未来都市計画において区が目指している次世代の担い手の育成と、「子どもとともに創るウェルビーイングシティしながわ」の実現へつなげる。

(2) 概要

区の地域課題や社会課題について問題意識を持つ中高生からリバースマンターを選定し、リバースマンターは専門家や区の職員のサポートを受けながら、自身の問題意識を深掘り、アイデアを磨き上げ、政策を立案する。検討した内容は、区長にプレゼンテーションを実施し、事業化を目指す。

(3) 令和7年度実施予定

- 6月15日(日): 委嘱式・意見交換会
- 7月～8月: 検討会(4回)
- 9月21日(日): 区長への政策提言

しながわSDGsパートナーシッププロジェクト ～「子ども」・「産」・「学」・「官」による共創～

◆ 3つの特徴

- 💡 多様なステークホルダーとの連携**
 - 民間企業、地域団体等との連携を推進するほか、区の未来を担う子ども・若者の柔軟な発想力を取り入れる。
- 🤝 マッチング促進による連携事業創出**
 - ニーズ（地域課題）とシーズ（サービス、ソリューション）の積極的なマッチングを図る。
- 💰 持続可能な資金調達スキーム**
 - 区の財源だけに依存しない、民間資金を活用する資金調達フレームを構築する。

多様かつ柔軟な意見の吸い上げ、新たなソリューションの活用、民間資金の積極的活用により自律的好循環を形成

全体スキーム

